

土佐希望の家通信

<発行>重症心身障害児(者)施設 土佐希望の家 高知県南国市小籠107 TEL 088(863)2131/FAX 088(863)2133/
<http://www.tosakibou.jp> Email:tosakibo@i-kochi.or.jp 発行責任者 門田 正坦 編集責任者 中屋 淳

HAPPY LIFE
家族の窓
No.20
中山太郎様
在宅



こんにちは、中山太郎です。
 希望の家には、小学校入学前「やまびこ」に2年ほど通園し、若草養護学校本校を卒業して、また戻ってきました。
 「やまもも」では、通園第1号で成人式を祝ってもらって、はや十年が経ちました。居間に飾ってある成人式の写真を毎日見ていると、ついこの間のこのように思い出されます。見た目はまだ二十才で十分通用すると母は思っています。いつまでも「たろうちゃん」と呼ばれているのも若さの秘訣かも・・・。
 週3日、1時間近くかけて通園していますが、ドライブが好きなので、ほとんど休むこともなく車内では大きな声も出ている様です。
 月に1度はショートステイを利用させてもらっているのですが、その間はお母さんも少しのんびりさせてもらっています。太郎は3病棟か1病棟でお世話になることが多いですが、最近ショートステイにも慣れ、日程が少し長くても平気になってきたので安心していきます。時々、夜勤のお手伝いをしていられることもあるのですが・・・。
 この夏は太郎にとっても嬉しいことがありました。6才下の弟にお嫁さんが来ることに。中山家は二男一女？(柴犬さくら)で、華やかさにかけていたので、みんな大喜びです。
 これからも元気で楽しいことがいっぱいありますように願っています。



9月2日(日)、花火大会。たくさんのキレイな花火でしたね！

花火大会！



八月十一日(土)、バイタルフス高知×テクノクラブ様とよさこいチーム海辺の杜様がよさこい踊りに来てくれました。
 素敵な衣装と音楽でたくさんの踊り子さんが病棟内に入り、踊ってくれました。利用者の皆さんはこの日のために手作りのメダルを作成していましたが、踊り子さんにしっかり渡すことができてよかったですね！
 どうもありがとうございました。

よさこい踊りが来てくれました



ちよことい話

1病棟療育員 岡村恵美子

【友達の話】「さうさう、この間、安芸の内原野でお昼ご飯を食べよったがよ。近くどこかの施設の人達も来ちよって、その職員さんが話しよった声が聞こえてね。」

「去年も一緒に来ちよったね、気持ちが良いね」

と利用者の人に話し掛けよったがやけど、その話し方がすごいアツカイがよ。言葉を伝えにくい利用者さんの人に対して話しかけたり、職員さんで利用者さんの話をしたり。おかげで、こっちまで気持ちアツカクなつたし、利用者さんもすごい笑顔で受け答えしよった。あんまり対応が良かったきどこの施設か聞いてみたら、土佐希望の家って言いよった。』

その話を聞き、先輩職員さん達はいつもの様子とあまり驚きも無いと思いましたが新人の私にとっては、すごいろうーと思わず自慢してしまう話で、その日は休日でも気持ち良く一日を過ごすことが出来ました。



有馬正高先生講話

6月7日、東京都立東部療育センター院長 有馬正高先生を迎えて、職員研修を行いました。



重症心身障害児施設の創設に、尽力された小林先生、糸賀先生、草野先生の紹介をされながら、重い障害を持つ子ども達の命と発達(育ち)、生活を守ってきた、「重症児の療育について」の大変貴重な講和でした。



2病棟の西森美音さんが還暦を迎えられました。みんなでお祝いをしました。おめでとうございます！！



「こ」厚意

【寄付金・寄付物品】
 齋尾大丈夫様 久富久貴様 日浦忠和様 北村忠司様 安藝菖子様 小林豊様 飯田清久様 南国法人会様 岡本清正様 岩田英展様 竹内洋様 野崎勝久様 岡崎三枝子様 高知農業高等学校様 前田宗之様 山崎純子様 岩田英展様 明治乳業南国販売店様 堀江真美様 高野燃料店様

ありがとうございました。
 今後ともよろしくお願ひします

一泊旅行に行ってきました！



3病棟あざみ 兵庫県須磨水族館



3病棟ひまわり あすたむらんど徳島 (かんぼの宿徳島)



1病棟こすもす レオマワールド さめきこどもの国

「海」の記憶
 高知市内、南国周辺では、田辺島、洞が島、葛島など海の中の島を想起させる地名が各地に残っていますね。また港と関連のある地名、大津、小津などの地名も。このほか、土佐神社の近くには、船を留める綱を掛けた、「綱掛け松」という松の木がかつて存在したのだそうです。今は、土佐神社に向かう道路わきに「表示」があり、想像もつきませんが、古代には「このあたりまで海が来ていたのだな」と驚かされます。

土佐希望の家周辺の歴史

施設長 長博雪



2病棟 桂浜荘、牧野植物園 イオン高知

一泊旅行、各病棟それぞれ楽しい場所に行ってきました。たくさんの思い出ができましたね！！

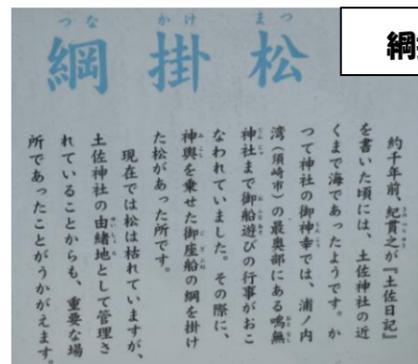


田辺島

田辺島は今でこそ、田園地帯の中の小さな小山に過ぎませんが、紀貫之が土佐日記を著した頃、今から千年位昔は、名前の通り、浦戸湾が広がる海にぽっかりと浮かぶ島であったと思われれます。その後は、国分川からの堆積や、地殻変動で陸化が進み、中世の戦国時代、小さな出城もあったようです。

現在は田辺島神社(隼人神社)があります。周囲は低湿地であり、しばしば川の氾濫や洪水に悩まされてきたようです。南海トラフの活動による、次の南海大地震と大津波を想定してでしょうか、付近の人達の避難場所としてかつての「田辺島」が指定されているようです。

人間の一生は長くて百年。千年前といえれば随分、昔の事に思えるかも知れませんが、46億年の地球の歴史からみると、千年といつてもほんのちよつと前。この頃、私達の目の前には、現在とは全く違った広い海原が広がっているのを想像するのも楽しいのではないのでしょうか。



綱掛けの松

約千年前、紀貫之が「土佐日記」を書いた頃には、土佐神社の近くまで海であったようです。かつて神社の御神幸では、浦ノ内湾(須崎市)の最奥部にある鳴無神社まで御船遊びの行事がおこなわれていました。その際に、神輿を乗せた御座船の綱を掛けた松があった所です。

現在では松は枯れていますが、土佐神社の由緒地として管理されていることから、重要な場所であったことがうかがえます。



田辺島神社(隼人神社)

カラオケ大会



3病棟ひまわり療育員 市園美沙紀
 六月十七日、待ちに待ったカラオケ大会です。この日まで練習する姿や歌声が病棟から聞こえていました。皆準備万端で気分十分でしたが、いざ前に立ってマイクを持つと皆さんとても緊張がみ。病棟ではパッチリ歌えても大勢の人の前に立つと、ドキドキしますよね。

しかし、そんな緊張にも負けることなく、1病棟、2病棟は職員も一緒にダンスやパフォーマンスを披露。3病棟は思い思いの曲を熱唱し、会場を盛り上げてくれました。皆さんとっても素敵でしたよ。また来年、皆さんの美声やパフォーマンスを楽しみにしています。



第十四障害者スポーツ大会に参加して

理学療法士 青木崇大

昨年の大会は生憎の台風で中止となりましたが、今年は天候にも恵まれました。参加者は下司正幸さん、大野健一さん、大黒直人さん、野中靖男さん、田中政清さん、竹村具子さん、植松三津子さん、中城幸子さんの8名で電動車椅子スラローム部門に出場しました。

コースは回転走行やバック走行、8の字など難コースでゴールのタイムを競います。練習の成果もあり、結果はなんと中城さん、植松さん、下司さんの3名が入賞されました。華麗なンドルさばきに歓声が沸くほど盛り上がりました。入賞されなかった利用者さんも仲間の活躍に喜ばれ、帰りにグッドラックでおいしいご飯を食べ、帰りにみな満足されていました。また来年に向けて利用者さんと一緒に頑張っていきたいと思えます。



スラローム部門で、見事入賞しました！



命のリレーコンサート



7月1日、通園のホールいっぱいの人で「いのちのリレーコンサート」が行われました。歌と語りとスライドで綴られた内容は、希望の家の始まりの山崎昇さんの命を、これまでここで暮らし、亡くなった人たちも含めて生きていることが輝いている存在だと、皆がバトンを引き継ぎ、リレーして来たのだというものです。

そしてその命の輝きをこれからもつないでいきたいと思います。コンサートの間、涙を流していた人、一緒に声を出してくれた人、山崎祥子さんの語りは話の内容を深めて下さいました。歌って参加した人も聞いてくれた人も心一つになる暖かいコンサートになりました。当日は高知センター合唱団の皆様、下村さん、樫尾さん、木藤さん、川村さんが合唱に加わり、職員、OB、分校の先生、保護者、三十数名の歌声が響きました。ありがとうございました。

療育部長 小谷卓

土佐希望の家後援会総会

六月十七日、三十名が参加し、第2回後援会総会が開かれました。本年度の活動として、①会員数の拡大(現在六十名) ②希望の家祭バザーへ参加 ③テントの寄贈 ④コンサートの開催(十一月)など承認し、その後は山崎元理事長ご夫妻を囲んで、OB、現職員、交えて懇親会が行われました。



第34回 希望の家祭
 2012年10月14日(日)
 10:30~15:00

テーマ
 「新しい時代へ
 ~愛と希望と笑顔の34(三銃士)」

お待ちしています！